

# HOW TO MOUNT A DISK INTO MASTER CADDY III

AtomX SSDminiを使用する代わりに、内蔵ディスクを使用する場合にはマスターキャディー（ディスクを固定するためのプラスチック製ケース）に取り付けてください。マスターキャディー3は、ATOMOS CONNECTの発売と共に登場したアクセサリで、NINJA VにATOMOS CONNECTを装着するときご利用頂く必要があります。従来のマスターキャディーよりも薄く軽量に設計されていて、NINJA VにATOMOS CONNECTを装着した際にメディアスロットにディスクを挿入することができます。マスターキャディー3と取付ネジはATOMOS CONNECTをご購入頂いた際に製品に同梱されています。

NINJA Vと互換性のあるSSDについては、[atomos.com/compatible-drives](https://atomos.com/compatible-drives)をご参照ください。



ATOMOS CONNECT装着時にはマスターキャディー2を、NINJA Vのメディアスロットに装着することができません。マスターキャディー3、AtomX SSDmini、AtomX CFast アダプターのいずれかをご利用頂く必要があります。

## マスターキャディー3へのSSDディスクの取り付け方法

SSDディスクをマスターキャディー3に装着する際、SSDのSATAの端子がプラスチックケースの隙間から正しく揃っていることをご確認ください。もし、隙間が正しくない場合には、SSDディスクを裏返して取り付けてください。

## 正しい取付状態



## 誤った取付状態



ドライブを挿入時にATOMOS CONNECTのSATA端子と接続できるようにマスターキャディー3の枠の向きを正しく合わせる必要があります。



SSDディスクは静電気で破損する恐れがありますので、取扱いには十分注意を払い、露出したSATAの端子には絶対に触れないでください。



マスターキャディー3に付属の4本のネジを使用し、プラスのねじ回しで適切に取り付けてください。取付の際は、ネジの頭がマスターキャディーケースと同じ高さになるように装着してください。ケースは軽量で安全に取り付けることができます。



ネジを締めすぎないようにご注意ください。



マスターキャディー3をATOMOS機器のメディアスロットに挿入する際は、ディスクのSATA端子と機器本体のSATA端子が正しい方向であることをご確認ください。マスターキャディー3をゆっくりと差し込み、ディスクを無理やり押し込まないでください。



マスターキャディー3を挿入時に問題が生じた場合には、SSDがマスターキャディーに正しい方向で装着されていない、もしくは、ネジの頭がマスターキャディーケースと高さが揃っていない可能性があります。

取り出して目視でご確認し、不具合を直してから再度装着してください。


マスターキャディーをドッキングステーションへの取り付け方。（NINJA Vのマニュアルをご参照下さい。）

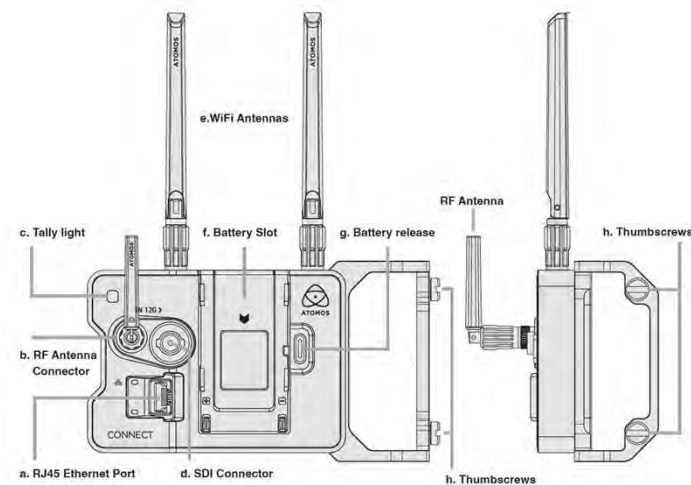


ATOMOS CONNECTをNINJA Vに装着しない場合にはマスターキャディー2が引き続きご利用頂けます。マスターキャディー2のご使用方法については、NINJA Vのマニュアルをご参照ください。

ATOMOS CONNECTは、NINJA VのAtomX拡張ポートに接続し接続方法と機能を追加することができます。12G-SDI入力、ATOMOS AirGluワイヤレス同期タイムコード技術を搭載し、様々なオンセットを想定し機器間の長距離通信やマルチ電源、Wi-Fi 6、ギガビットのEthernetに適応しました。

ATOMOS CONNECTをNINJA Vに取り付けますと、ATOMOS CONNECT機能を使用してプロのシネマカメラ、ミラーレス、DSLRカメラが様々な高度なクラウドベースのワークフローで十分にご利用頂けます。クラウドベースのワークフローの詳細についてはATOMOS Capture to Cloud の章をご覧ください。

 NINJA Vで ATOMOS CONNECTをご利用頂くには、AtomOSファームウェアバージョン10.8以降がインストールされていることをご確認ください。ファームウェアのダウンロードは、[atomos.com/support](https://atomos.com/support) をご参照ください。



## ATOMOS CONNECTの接続

### A. RJ45 インターネットポート

1GのEthernetで高速かつしっかりとケーブルを接続してネットワーク接続を実現。

### B. RF アンテナ端子

AirGlu™ ワイヤレスSYNC 機能用の付属RFアンテナを接続します。

### C. タリーライト

本体背面の赤いタリーライトで収録中であることを示しています。

### D. SDI 入力端子


SDI入力端子は12Gに準拠し、6G、3G、1.5Gの信号とも互換性があります。

### E. Wi-Fi アンテナ

付属の2本のWi-Fiアンテナを接続します。Wi-Fi 6は高性能なワイヤレス接続と、モバイルホットスポットに対応しています。

### F. バッテリースロット

NP-F/Lシリーズのバッテリーやバッテリーエリミネーターを取り付けて電源供給を行います。


 ATOMOS CONNECTのバッテリースロット (f) には、AtomXモジュールを取り付けることはできません。


### G. バッテリーリリース

ボタンを押しながら電源ユニットをスライドさせることで本体から取り外せます。

### H. つまみネジ

付属のつまみネジを使用して、ATOMOS CONNECTをNINJA Vの左側にしっかりと取り付けます。

 つまみネジを絞めつけ過ぎないようにご注意ください。

 ATOMOS CONNECTを装着時、NINJA Vのメディアスロットにマスターキャディー2を装着することができません。マスターキャディー3、AtomX SSDmini、AtomX CFastアダプターのいずれかをご利用頂く必要があります。

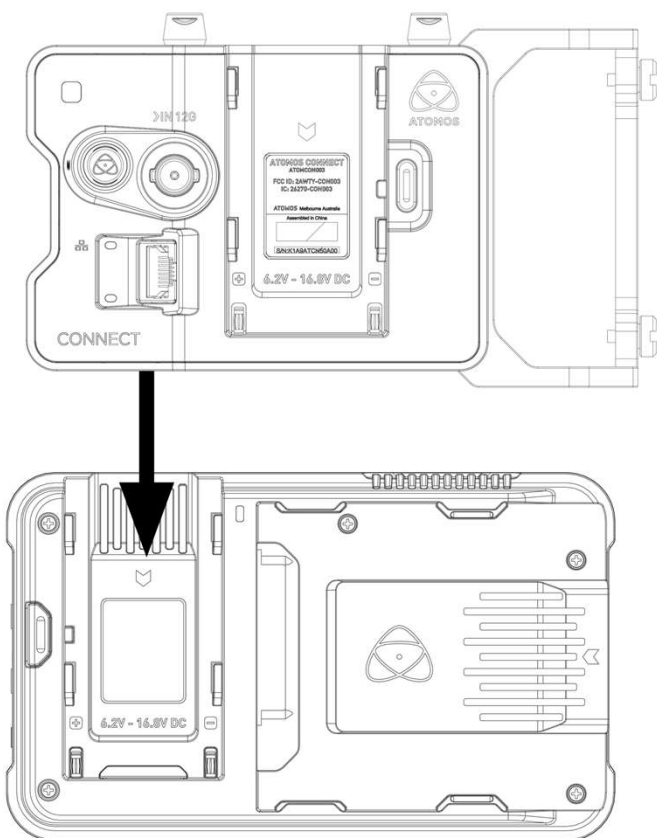
# ATOMOS CONNECT

## ATOMOS CONNECTの着脱方法


ATOMOS CONNECTの取り付け方法はAtomXモジュールをNINJA Vに装着するのと同じ手順です。

## ATOMOS CONNECTの取り付け方法


1. ATOMOS CONNECTの背面とNINJA VのAtomX拡張ポートの向きを揃えます。

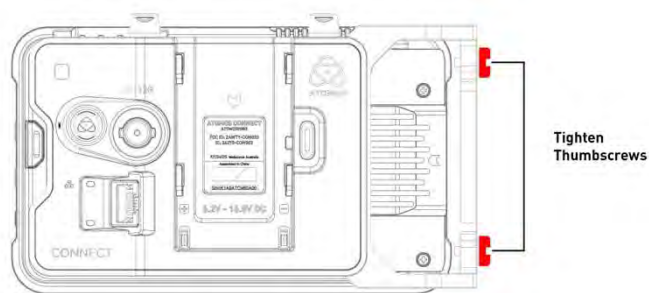


2. AtomX拡張ポートにATOMOS CONNECTを差し込み、カチッと音がするまでゆっくりと押し下げます。


 ATOMOS CONNECTを装着時に、カチッと音がすることをご確認ください。

3. つまみネジ(h)を緩め、ATOMOS CONNECTを正しい位置に固定します。

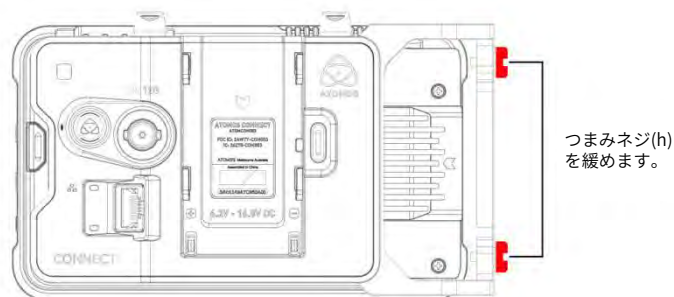
 つまみネジを締めすぎないようにご注意ください。



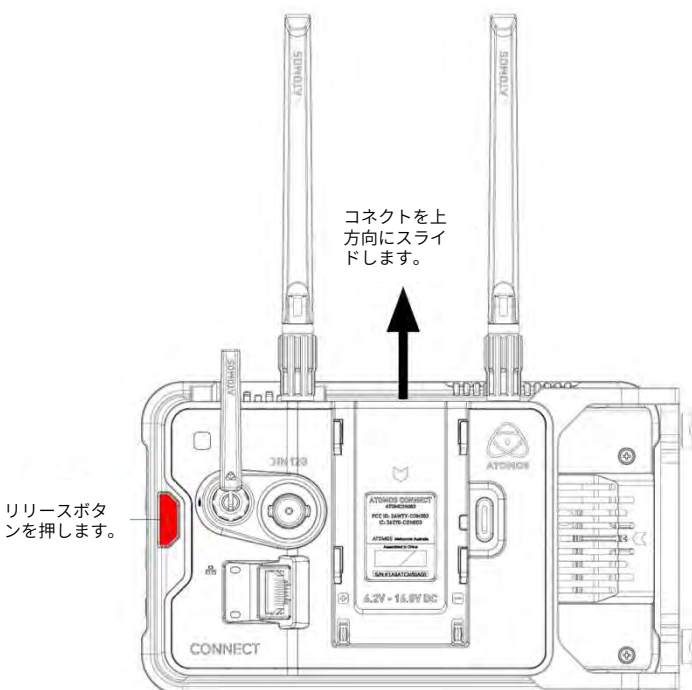
## ATOMOS CONNECTの取り外し方法

 ATOMOS CONNECTをNINJA Vから取り外す前に、挿入されたメディアが取り外されていることをご確認ください。

1. つまみネジ(h)を最後まで緩めます。

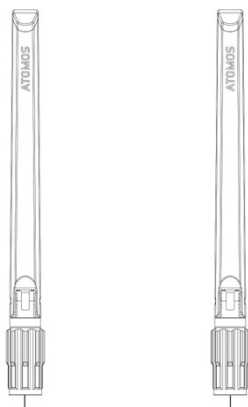


2. NINJA Vのリリースボタンを押しながら、ATOMOS CONNECTをゆっくりと上方向にスライドさせます。



## ATOMOS CONNECTへのアンテナの取り付け方

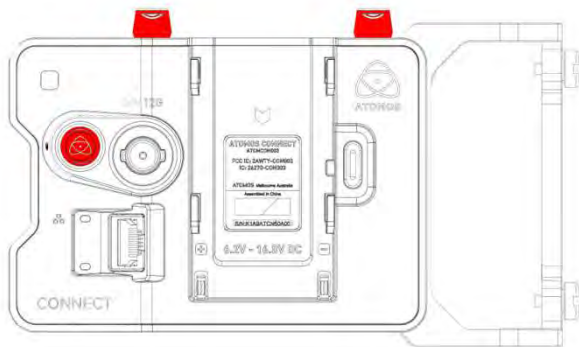
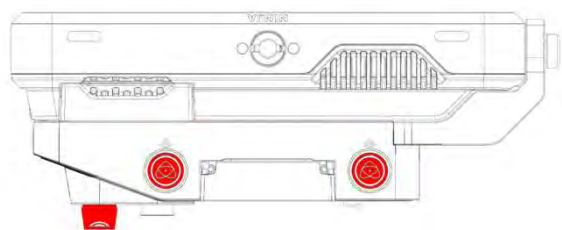
ATOMOS CONNECTの箱の中には3本のアンテナが同梱されています。同じ形状が2本、短いアンテナが1本あります。長い2本はWi-Fiアンテナで、短いのがRFアンテナです。



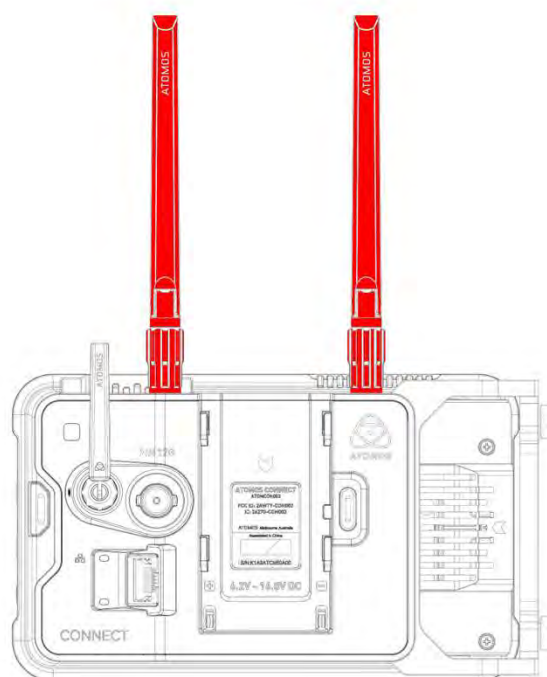
Wi-Fiアンテナ

RFアンテナ

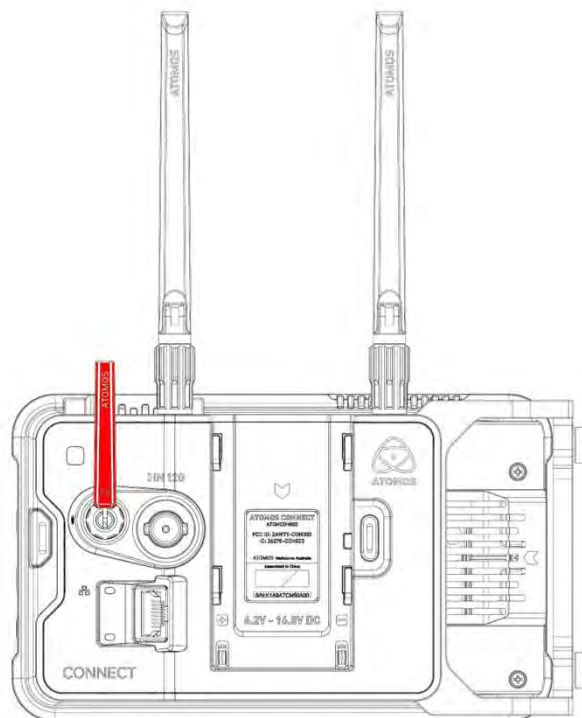
1. 下のイラストの赤く印をつけてある箇所から、アンテナ端子カバーを外し、無くならないように保管してください。  
アンテナを取り付けない時には、アンテナ端子を保護するために所定の位置にカバーを取り付ける必要があります。



2. 2本のWi-Fiアンテナを、ATOMOS CONNECT上部のWi-Fi端子に回しながら取り付けます。



3. 短いアンテナをATOMOS CONNECT背面のRF端子に回しながら取り付けます。







## ATOMOS CONNECTへの電源の接続方法

ATOMOS CONNECTの電源は、NINJA Vに付属しているDC電源とバッテリーエリミネーターから供給することができます。別売のD-Tap to DC Barrel Coiled Cable (ATOMDTPCB2) や NP-F / Lシリーズ形状のバッテリーもご利用頂けます。

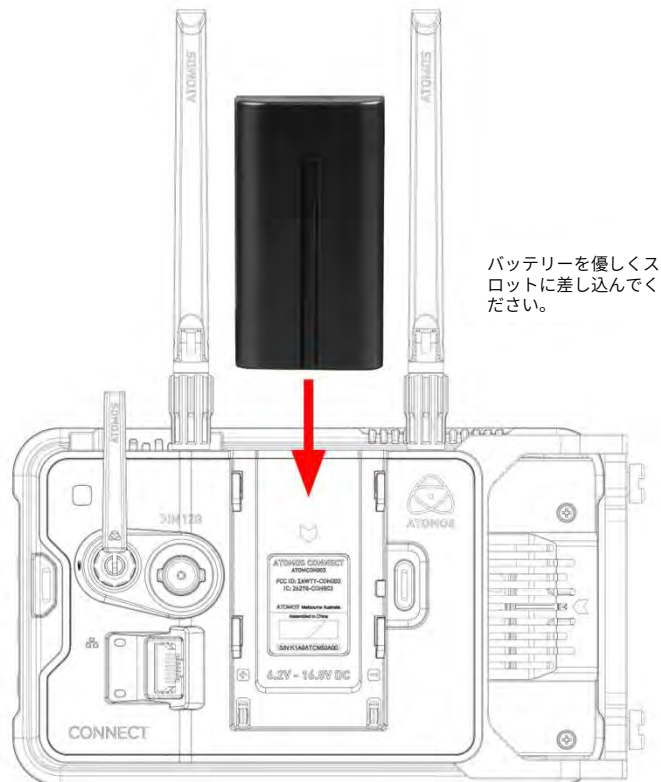
お使いになる電源をバッテリースロット (f) に接続し、NINJA Vの時と同じ手順で電力を供給することができます。

 ATOMOS CONNECTに電源を接続しますと、NINJA VとATOMOS CONNECTの両方に電力が供給されます。

 NINJA VにATOMOS CONNECTを装着してはじめて電源を入れますと、使用地域を選択が求められます。  
『Region (地域)』をタップして選択を切り換え、  
『Confirm (確認)』をタップして適用してください。  
こちらのメッセージは、ファクトリーリセットをかけたとき、もしくは、新しいAtomOSファームウェアをインストールした後も表示されます。

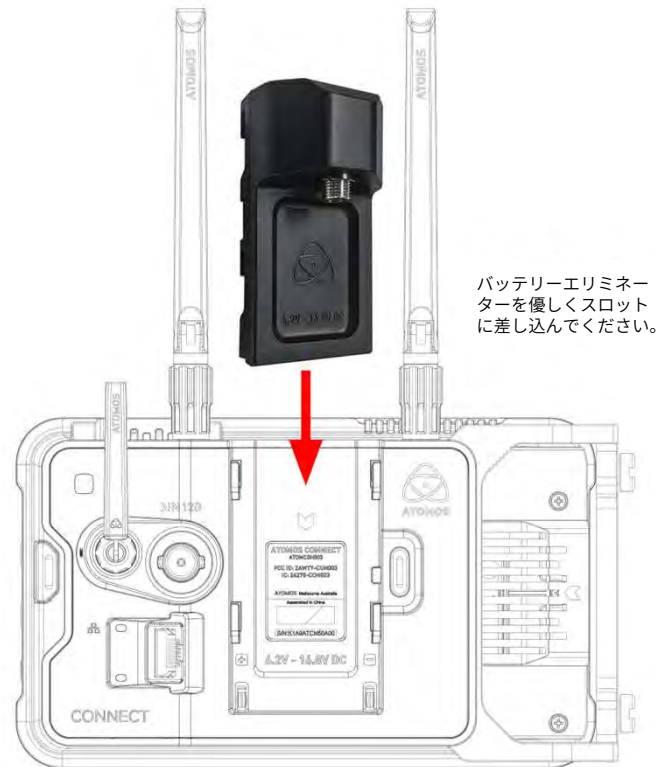
## ATOMOS CONNECTへのNP-F / Lシリーズバッテリー装着方法

- ・ バッテリーをバッテリースロット (f) の溝に併せカチッと音がするまで押し込みます。



## ATOMOS CONNECTへのバッテリーエリミネーター装着方法

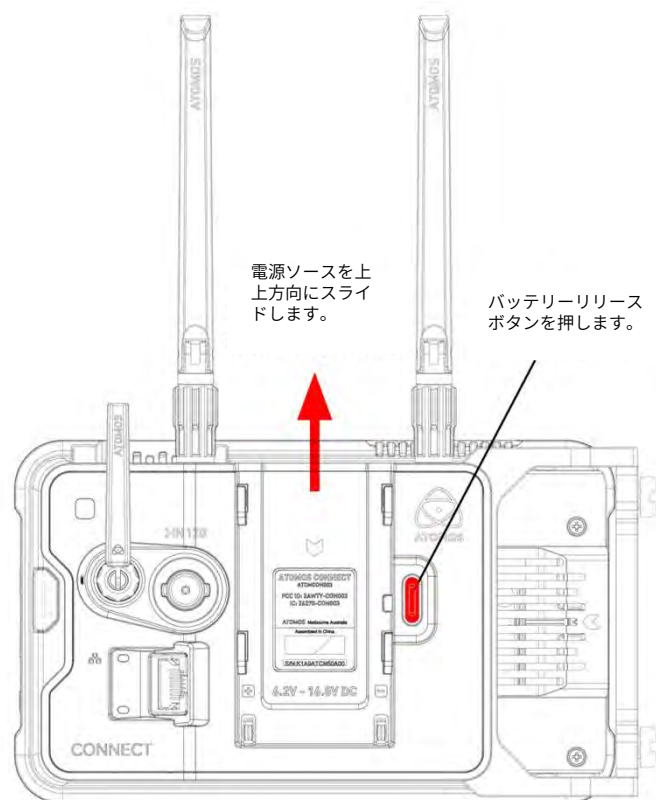
- ・ バッテリーエリミネーターをバッテリースロット (f) の溝に併せカチッと音がするまで押し込みます。



- ・ DC電源をバッテリーエリミネーターのDCジャックに接続し、しっかりと固定します。
- ・ もしくは、別売品の ATOMOS D-Tap to DC Barrel Coiled Cable (ATOMDTPCB2) をDCジャックに接続し、もう片方をD-Tap電源に接続します。

## ATOMOS CONNECTからのバッテリーエリミネーターやバッテリーの取り外し方法

- バッテリーリリースボタン(g)を押しながら電源ソースをゆっくりと上にスライドさせて取り外します。



## ATOMOS CLOUDへの接続方法

Wi-Fiや、Ethernetネットワークへの接続方法については、Wi-Fiネットワークへの接続方法、Ethernetネットワークへの接続方法のページをご参照ください。

Atomos Cloud Studio および、Atomos Cloudへの接続方法については、CONNECT MODEおよび、ATOMOS Capture to Cloudを参照ください。

# INPUT メニュー - ATOMOS CONNECTでの入力



ATOMOS CONNECTを接続時、Input（入力）メニューの『input』をタップして、SDI入力に切り替えることができます。SOURCEメニューが開き、SDIが選択できます。入力ソースの変更には数秒かかることがあります。『OK』をタップしたあと、機器がSDIソースモードに切り替わるまでそのままお待ちください。こちらのモードに入りますと、上の画像のようなInput（入力）メニューが現れます。

ATOMOS CONNECTには、12G SDI入力の端子があり、様々な業務用カメラやビデオソースから、最大4Kp60迄のモニタリングと収録を行うことができます。



NINJA VでATOMOS CONNECTをお使い頂くには、ファームウェアバージョンを10.8以降にする必要があります。SDI RAWをお使い頂くには、ファームウェアバージョン10.6以降がインストールされている必要があります。

SDI RAW 機能をご使用になる場合には、SDI RAW 機能のアクティベーションを有効にする必要があります。詳細については、NINJA Vのマニュアルの「コーデックのアクティベーション」の章をご覧ください。


## 互換モード(SDI)

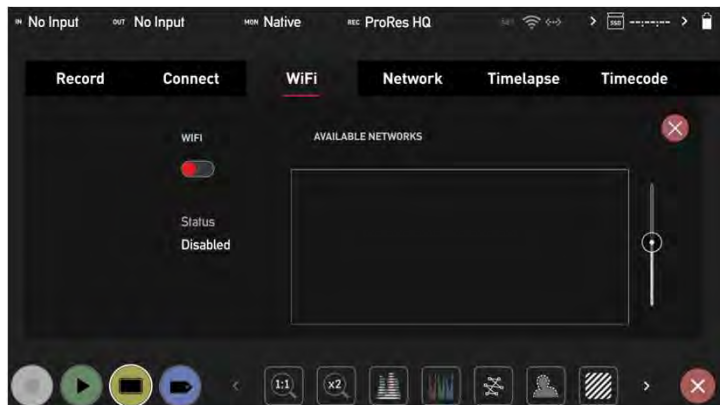
入力信号にSDIが選択されると、『Compatibility Mode（互換モード）』のトグルスイッチがSOURCE項目の中に現れます。

こちらのモードは、12G規格とわずかに異なる特定のカメラをお使いになる際に、SDI信号をロックする工程を改善します。詳細については、[atomos.com/support](https://atomos.com/support) をご覧ください。

## Wi-Fi メニュー

NINJA VにATOMOS CONNECTを装着し、Connectモードに設定しますと、Wi-Fi メニュータブの設定が行えます。こちらのメニューでは、機器をWi-Fiネットワークに接続するための設定が提供されており、Atomos Cloud Servicesに接続できるようになります。接続モードの詳細については、CONNECTモードの章をご参照ください。

 メニューでWi-Fiメニューを表示させる前にNINJA VにATOMOS CONNECTを接続し、機器をConnectモードにする必要があります。



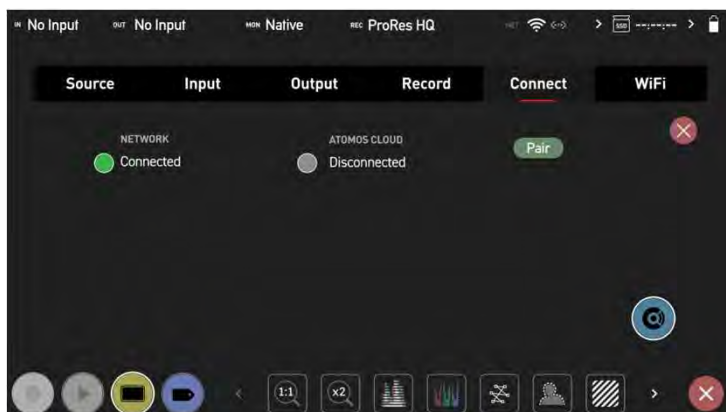
- 『AUTO JOIN』のトグルスイッチをタップしますと、適用されたWi-Fiネットワークに自動的に再接続することができます。





- ネットワークに接続されると、『Connect』メニューが更新されてNETWORKの印が緑色になり、『Connected』の文字が表示されます。Atomos Cloudの接続方法については、『CONNECTモード』の章をご覧ください。

## Wi-Fi ネットワークへの接続方法

- NINJA VのメニューからWi-Fiメニューに移動します。
- Wi-Fiのトグルスイッチをタップして、Wi-Fiを有効にします。
- 利用可能なWi-Fiネットワークのネットワーク名 (SSID) が Available Networksに電波強度とともに表示され、ネットワークにアクセスするのにパスワードが必要な場合には、南京錠のアイコンが表示されています。ネットワークのリストは、タップとドラッグでスクロールすることができます。
- 接続を行いたいネットワーク名をタップし、表示されたキーボードで選択したネットワークのパスワードを入力し、enterキーを押します。選択したWi-Fiネットワークに接続され、ネットワーク名の隣りに緑色のチェックマークが表示されます。



 収録モードと再生モードを切り替えたとき、Wi-Fi に再接続されるまでに最大10秒かかる場合があります。

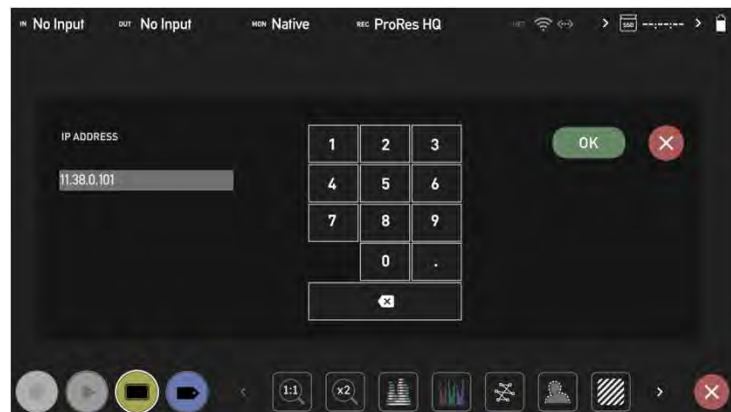
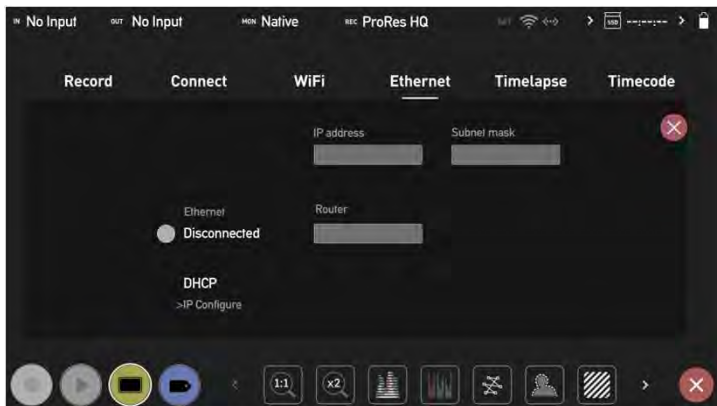
 Wi-Fiのオンとオフを頻繁に行いますと、オン/オフの反応が悪くなる場合があります。症状を解消するために、システムの再起動を促すダイアログメッセージが表示される場合があります。



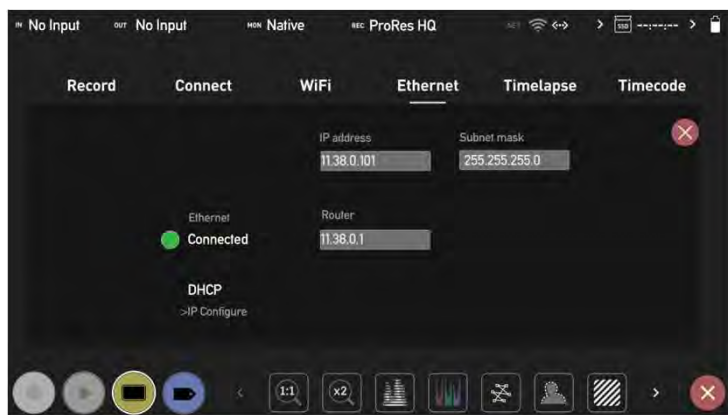
# ETHERNET メニュー

NINJA VにATOMOS CONNECTを装着し、機器を『Connect』モードにしますと、『Ethernet』タブがメニューの中に表示されます。こちらのメニューでは、機器をEthernetでネットワークに接続するための設定を提供し、Atomos Cloud Servicesに接続できるようになります。Connectモードの詳細については、『CONNECT モード』の章をご覧ください。

『Network』メニューを表示する前にNINJA VにATOMOS CONNECTを接続し、『Connect』モードに設定してください。



5. Ethernetネットワークに接続されると、緑色の丸と、『Connected（接続済）』の文字が表示されます。



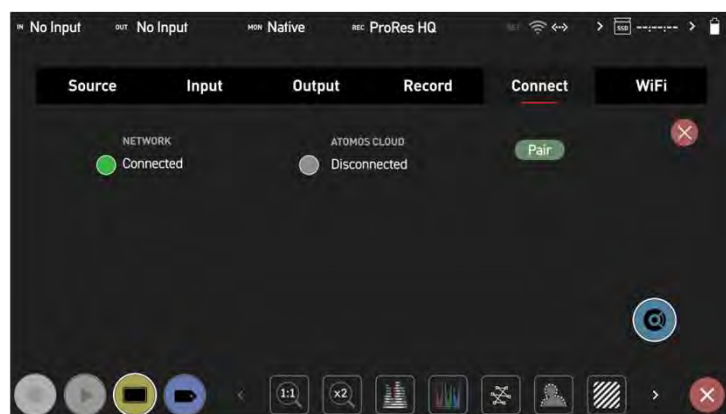
## ETHERNETネットワークへの接続方法

1. Atomos CONNECTにネットワークとつながっているEthernet ケーブルを接続します。
2. NINJA Vの『Ethernet』メニューを開きます。
3. 『IP Configure』をタップしますと、DHCPと静的が交互に切り替わります。DHCPを選択して、ネットワーク接続の詳細を自動構成にします。ルーターがDNS、IPアドレス、サブネットマスクの欄を自動的に設定します。

DHCPをお使い頂くには、IPアドレスを自動で割り当てられるようにネットワークのDHCPを有効に設定する必要があります。

4. ネットワークを手動で設定する場合には、『IP Configure』で『Static（静的）』を選択してください。空白のフィールドをタップしますとキーボードが表示されますので、IPアドレス、サブネットマスク、ルーターの入力を行ってください。全ての入力が完了したら、『Confirm』をタップしてください。

6. 『Connect』メニューページが更新されて、NETWORKに緑の丸と、『Connected（接続済）』の文字が表示されます。Atomos Cloudへの接続方法は『CONNECTモード』の章をご覧ください。



収録モードと再生モードを切り替えたときEthernetが再接続されるまでに最大10秒ぐらいかかる場合があります。

# CONNECT メニュー

『Connect』メニューでは、NINJA VをAtomos Cloud Studioにペアリングすることができます。また、接続しているサービスの詳細情報も表示されます。

ネットワークやクラウド機能は、NINJA VにATOMOS CONNECTを装着し、『Connect』モードが選ばれているときにご利用頂けます。『Connect』モードになりますと、WiFiやNetworkメニューがご利用できるようになり、Atomos Cloudとペアリングすることができます。

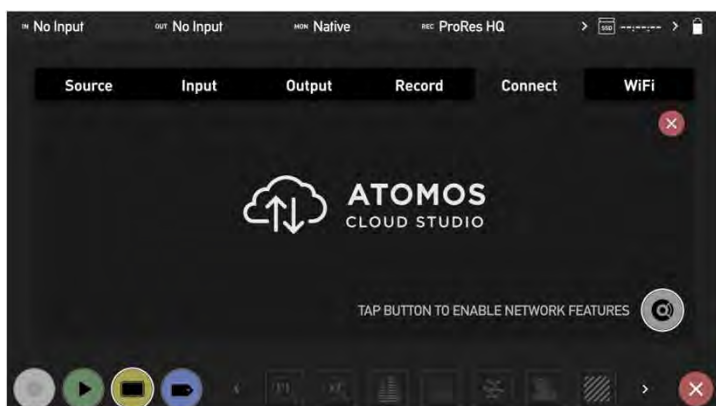
## CONNECT モード（コネクトモード）



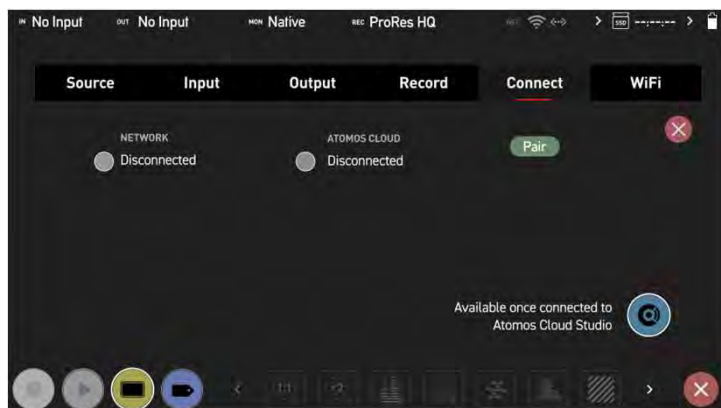
NINJA VにATOMOS CONNECTを装着し、はじめて『Connect』モードを開きますと、画面上にグレーのConnect（接続）アイコンが表示されます。ATOMOS CONNECTを使用して、ネットワークやクラウド機能をご利用頂くには、Connectモードを有効にする必要があります。Connectモードアイコンをタップしますと、Connectモードに入ります。

Connectモードボタンは、NINJA VにATOMOS CONNECTが装着しているときだけ表示されます。

こちらの画面は、ファクトリーリセットを行ったり、新しいAtomOSファームウェアをインストールした後にも表示されます。



Connectモードになりますと、ネットワークの接続状況とAtomos Cloudへの接続状況が表示されます。メニューに『Wi-Fi』と『Network』タブが表示され、情報バーにはWi-FiとEthernetのアイコンが表示されます。



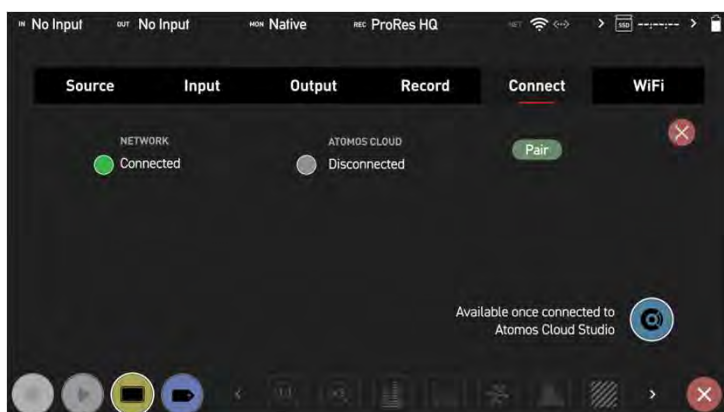
『Connect』モードで『connect』ボタンをタップしますと、Atomos Cloud Studioとの接続を手動でオン/オフすることができます。

## ATOMOS CLOUDとの接続

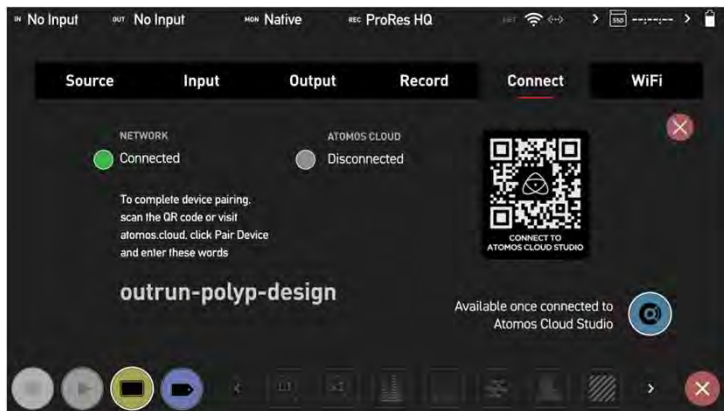
Atomos Cloudに接続する前に、機器をネットワークに接続する必要があります。ネットワークの接続方法については、Wi-Fiネットワークへの接続方法、Ethernetネットワークの接続方法のページをご覧ください。ネットワークと正常につながりましたら、以下の手順で『Connect』メニューから機器をAtomos Cloudにペアリングすることができます。

## ATOMOS CLOUDとのペアリング方法

1. 機器がネットワークに接続されていることをお確かめください。ネットワークへの接続状況は、NETWORKの下に、Connected（接続済）もしくは、Disconnected（切断）のいずれかが表示され、丸が緑またはグレーで視覚的に状況が表示されています。



- 『Pair』をタップします。
- 機器がAtomos Cloud Studioと通信し、NINJA Vのモニター画面にQRコードと特有の3つの単語が表示されます。



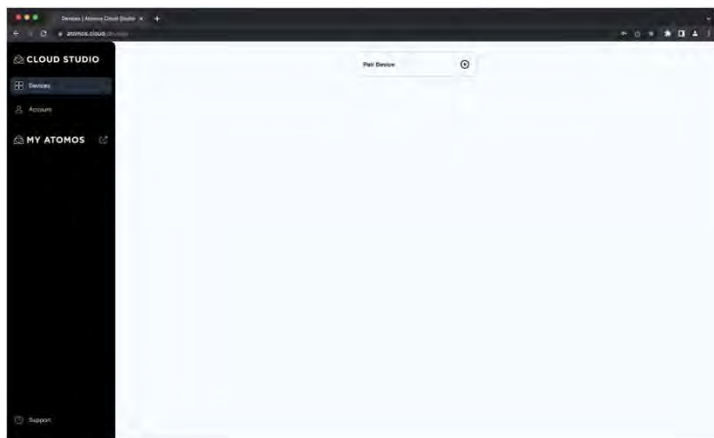
- モバイル端末でQRコードを読み込み、Atomos Cloud Studioと接続、もしくは、パソコンなどのウェブブラウザで、atomos.cloudにアクセスしてください。Atomos Cloud Studioアカウントでsign up（登録）を押して、お客様の情報をご記入ください。もし、既にAtomos Cloud Studioのアカウントをお持ちの場合には、『Sign In（サインイン）』をタップし、表示画面の手順に従ってください。

- ガイドラインに従って、適切なパスワードを作成してください。  
(パスワードは最低6文字以上、特殊文字、数字、大文字を1つ入れてください)

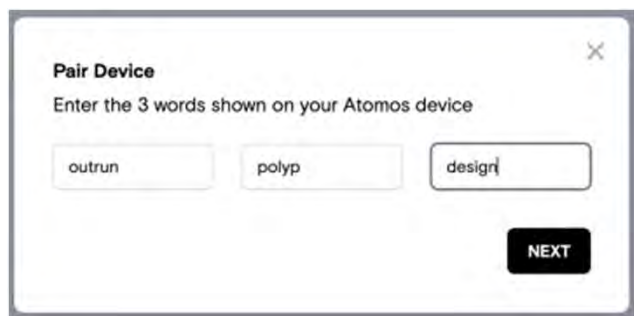
- 6桁の確認コードが記載されたATOMOSからのメールが届いていないかご確認ください。Atomos Cloud Studio アカウント作成時に記載したメールアドレスに送信されます。もし受信フォルダに見当たらない場合には、迷惑フォルダに入っていないかご確認ください。送られてきた確認コードを入力し、『NEXT（次へ）』ボタンを押します。



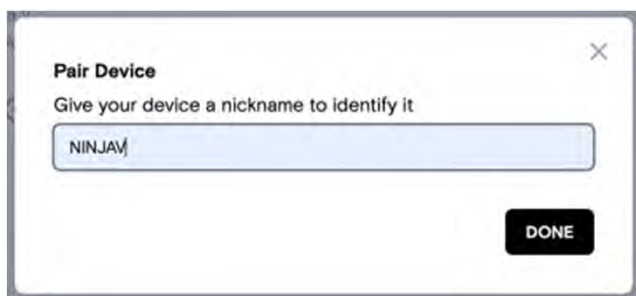
7. 『Devices』タブでメイン画面が開きます。こちらの画面では、Atomos Cloud アカウントとペアリングされているCONNECT機器が表示されています。画面の中央にある『Pair Device』を押します。



8. 3単語を入力するウィンドウが表示しますので、ATOMOS機器に表示された3つの単語コードを入力し、『NEXT』ボタンを押してください。



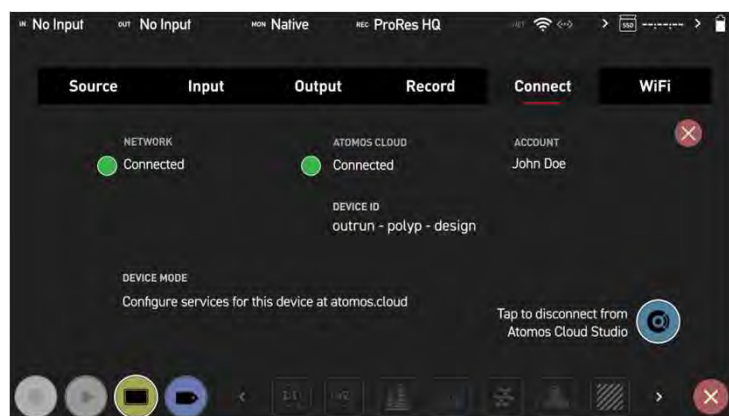
9. 識別しやすいように機器にニックネームをつけます。



10. 機器がAtomos Cloudアカウントとペアリングされました。  
『Devices』タブが更新し、ペアリングしている機器の画像と詳細が表示されます。  
画面上の画像には3単語のコードが表示され、機器の種類は、『Device』に表示されます。  
機器がAtomos Cloudに接続されると、デバイスボックスの上部にある機器のニックネームの隣りに緑色の丸が表示されます。



11. NINJA Vの『Connect』メニューページも更新されて、ATOMOS CLOUDの状態がConnectedになり、緑の印が表示されます。Atomos Cloudアカウントを作成時に使用した名称がACCOUNTに表示され、現在のデバイスモードがDEVICE MODEに表示されます。  
ここに表示されるのは、Frame.io C2Cモードもしくは、Live Streamモードのどちらかになります。  
配信先には選択したプロジェクトの配信先名が表示されています。

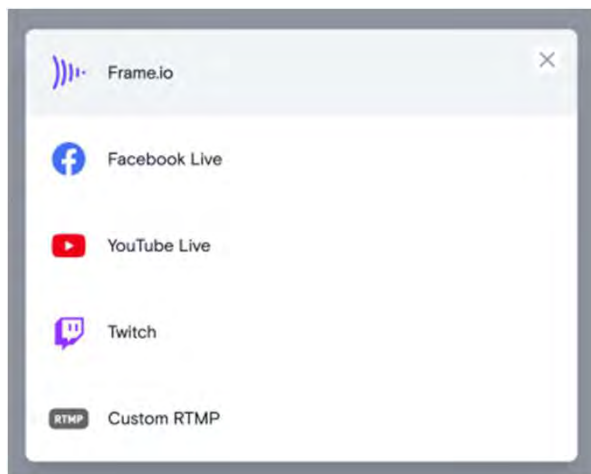


12. 次に、atomos.cloudで接続機器のサービスを構成する必要があります。  
デバイスボックスの『Add Destination』の隣にある+マークを押して宛先を追加します。





13. 新規ウィンドウが開き、宛先オプションが表示されます。配信先をクリックして選択しますと、配信先の設定情報を入力します。



### ペアリング済み機器の設定調整

デバイス画像ボックスの右上にある3つのドットを押しますと、『change the nickname（ニックネームの名称変更）』、『Unpair device（機器のペアリング解除）』の項目が表示されます。



### ATOMOS CLOUDから機器のペアリング解除方法

Atomos Cloud アカウントから機器のペアリングを解除したいときには、ドロップダウンメニューの『Unpair Device』を選択します。確認画面が表示されます。



機器のペアリングを解除しますと、関連サービスも接続が解除されます。

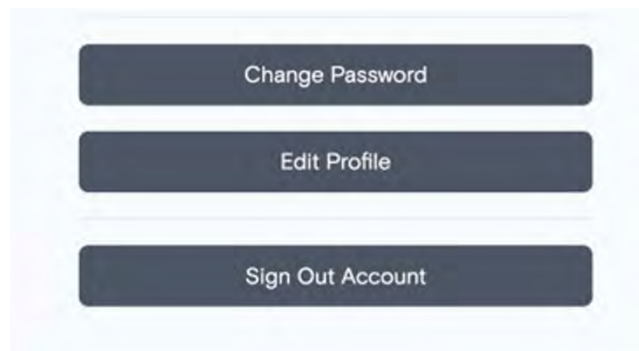


工場出荷時のリセットを行う場合には、事前にクラウドと機器のペアリングを解除していることをご確認ください。



### 設定の調整

Atomos Cloudアカウントを変更する場合は、画面左側の『Account』を押して、Account タブを開きます。こちらでは、パスワードの変更、プロフィールの詳細情報の編集、Atomos Cloud Studio アカウントのサインアウトを行うことができます。



ATOMOS Cloud Studioは、新しいクラウドベース映像制作サービスのコレクションで、ATOMOS Capture to Cloud、ATOMOS Streamも含まれます。互換性のあるカメラや機器をお持ちの方はどなたでも、これらのツールを活用しメディアを共有し、リアルタイムで共同作業を行うことができます。

## ATOMOS CAPTURE TO CLOUD

クラウドベースのワークフローは急速に人気が高まっており、何千ものプロダクションで生産性が証明されています。Atomos Capture to Cloudは、HDMIやSDIを搭載したカメラや機器をオンラインサービスに接続できるようにすることで、これらのシステムに新たな次元を加えます。

機器からのコンテンツ、カメラからの映像をリモートチームのメンバーとパワフルに、フレキシブルに、素早く共有することができますようになります。記録メディアを手作業で移すことも、忙しい中評価を待つ必要もなくなり、このワークフローでは、プロダクションとポストプロダクションの垣根をなくし、どこにいてもチーム間の距離を縮めることができます。

## FRAME.IO CAMERA TO CLOUD (C2C)

Frame.ioのようなオンラインレビューと共同作業が行えるプラットフォームが不可欠となり、段階的な遅延がなくなることで、プロダクションとポストプロダクション間の関係が一変しました。Frame.io Camera to Cloudは、**C2C Connected Devices**のエコシステムで、制作現場でFrame.ioに接続し、撮影のテイクごとにカメラの映像と音声データをアップデートすることができます。

ATOMOS CONNECTをペアリングしますと、NINJA VがFrame.io C2C接続機器となり、Frame.io C2C エコシステムに直接接続されます。HDMIやSDIを搭載した互換性のあるカメラや機器をお持ちの方はどなたでも、Frame.io Camera to Cloudと同様に、Frame.ioのレビューや共同作業ツールを活用することができます。

Frame.io for Creative Cloudがクラウド制作のサブスクリプションに含まれたことで、更に多くの映像制作者、ストーリーマー、映像コンテンツクリエイターが、Frame.ioのパワフルな機能をご利用頂けるようになります。

NINJA Vのデュアル収録機能はAvid DNxHR/HD や Apple ProRes 422 の『hero (ヒーロー)』と『proxy (プロキシ)』の1080p HEVC (H.265) ファイルを一致させて生成しますので、プロキシが安全なバックアップとしても収録されています。

## ATOMOS STREAM

YouTube、Facebook Live、LinkedIn Live、Microsoft Stream、Twitchなどの人気プラットフォームでのライブ配信を可能にします。幅広いカメラに対応し、ユーザーは場面に応じて、ハイエンドのデジタルシネマカメラやミラーレスカメラ、DSLR、USBカメラ、さらにはiOS機器でさえも選択することができます。

ATOMOS Stream は、ストリームをより簡単に、そしてより安全に設定がおこなえるようにストリーム構成のプロセスをつくることで、人気のあるオンラインプラットフォームに簡単にアクセスを行い、ライブ映像を共有できるように設計されました。



Facebook Live、Custom RTMP配信は、現在ストリーミング先に設定することができません。今後のファームウェア更新で対応する予定です。

# CONNECT メニュー - ATOMOS CAPTURE TO CLOUD

ATOMOS Capture to Cloudは、Frame.io Camera to Cloud (C2C)などのサービスを利用して、リモートチームメンバーにカメラや機器からの映像をパワフルで、フレキシブルに、そして素早く共有する方法を提供します。

## USING FRAME.IO CAMERA TO CLOUD (C2C)

ATOMOS CONNECTをペアリングしますと、NINJA VIはFrame.io C2C 接続機器として、Frame.io Camera to Cloud エコシステムに接続できます。エコシステムは、撮影のテイクごとに、撮影現場のカメラから映像や音声をFrame.io にアップロードしプロダクションセットに接続します。

Atomos Cloud Studioで送信先にFrame.io を選択しますと、Frame.io Camera to Cloudを活用して、プロキシファイルをFrame.ioプロジェクトに直接アップロードすることができます。つまり、収録中にプロキシファイルをFrame.io にアップロードすることで、世界中のあらゆる場所から、編集者が即座にファイルにアクセスし編集を開始することができます。

Frame.io Camera to Cloudについての詳細は、<https://frame.io/c2c/> or watch the Frame.io もしくは、トレーニングシリーズをご覧ください。  
<https://frame.io/c2c-training/>

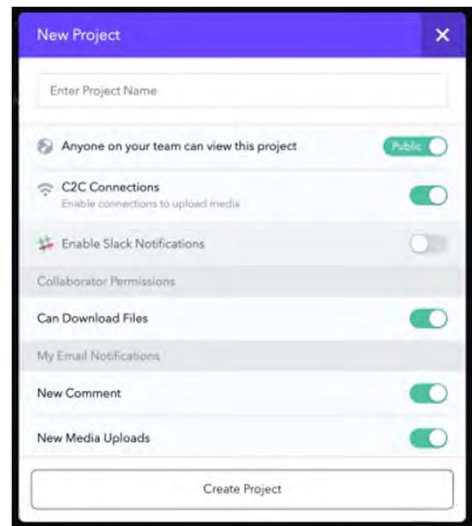
NINJA Vのデュアル収録機能は、Avid DNxHR/HD もしくは、Apple ProResのいずれかの『hero(ヒーロー)』クリップ (4Kp30 迄)と共有するために1080p HEVC (H.265) の『proxy (プロキシ)』ファイルを一致させて生成されますので、収録中に安全にバックアップすることができます。ノンリニア編集が完了しましたら、最終的なカラーグレーディング、ビジュアルエフェクト、その他のポストプロダクション作業を行う為に、ハイクオリティの『hero(ヒーロー)』クリップを簡単に再リンクすることができます。

## FRAME.IO アカウントの設定方法

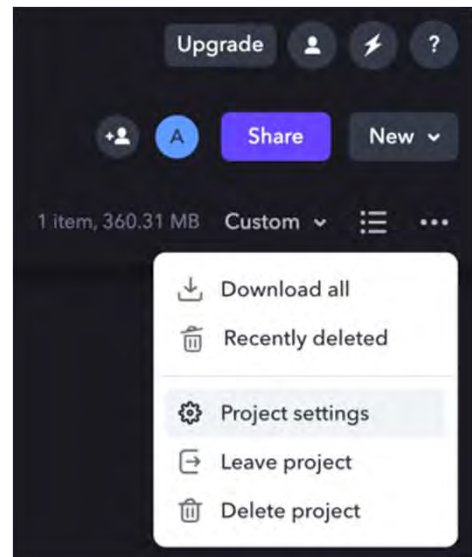
Atomos Cloud StudioでFrame.io Camera to Cloudを送信先に設定する前に、Frame.io アカウントを設定する必要があります。  
<https://frame.io/> にアクセスし、画面の表示に従って、Frame.io アカウントを取得してください。

メディアの送信先にプロジェクトを作成し登録し、プロジェクト設定でC2C接続を有効にしておく必要があります。この設定で、NINJA VIはFrame.io C2Cエコシステム接続されて、プロキシファイルをFrame.ioプロジェクトに直接アップロードすることができます。

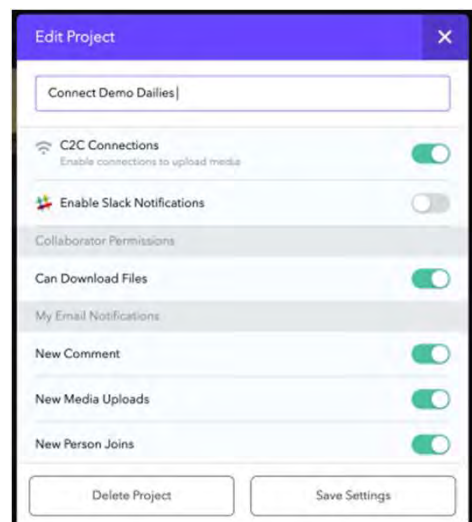
ウェブアプリ、モバイルウェブ、Frame.io iOS アプリなどから新しいプロジェクトを作成したとき、C2C接続のトグルスイッチを押してONにしますと、C2C接続が有効になります。



右上隅にある3つの点をクリックして、『selecting Project Settings』を選択し、既存のプロジェクトをクリックしてC2C接続を有効にすることもできます。




Edit Projectダイアログが開き、『C2C Connections』をクリックしてONにすることができます。



# CONNECT メニュー - ATOMOS CAPTURE TO CLOUD

プロジェクトのC2C接続が有効になりましたら、以下の手順に従って、Atomos Cloud アカウントの配信先を Frame.io Camera to Cloudに設定できるようになります。

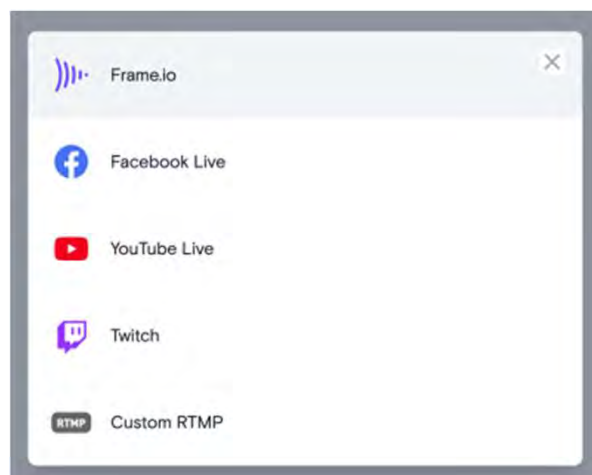
 6桁のコードを入力して、Frame.io から、Atomos機器にペアリングすることはできません。ATOMOS機器は、ATOMOS Cloud Studio経由でFrame.io とペアリングを行う必要があります。

## ATOMOS CLOUD STUDIOの配信先にFRAME.IO CAMERA TO CLOUDを設定する手順

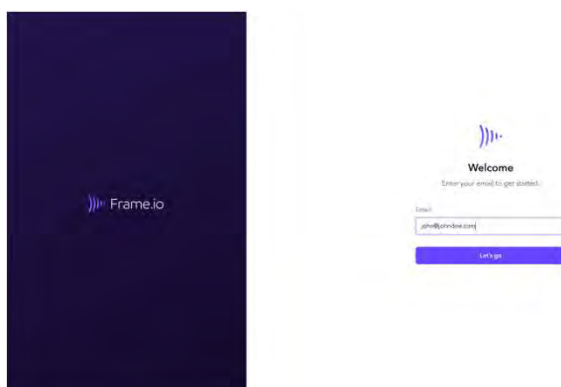
1. CONNECTモードの手順に従って、機器をAtomos Cloudにペアリングしてください。  
ペアリング後、デバイスボックスの『Add Destination』をクリックしてください。



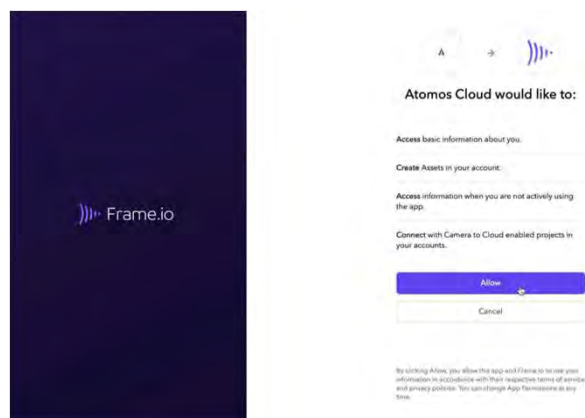
2. オプションでFrame.io を選択してください。



3. Frame.io のログイン画面が開きますので、Frame.ioアカウントでログインを行ってください。



4. Atomos Cloud アカウントがFrame.io アカウントのCamera to Cloud のプロジェクトに接続するための許可を求める確認画面が開きますので、『Allow』をクリックして進行してください。



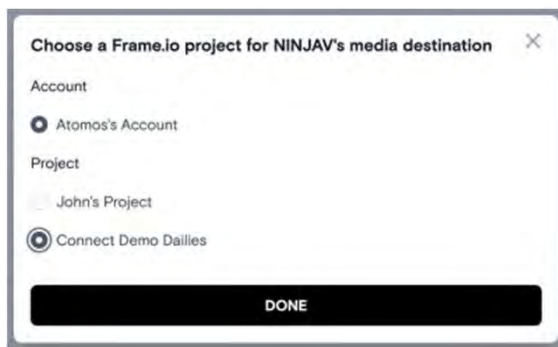


# CONNECT メニュー - ATOMOS CAPTURE TO CLOUD

5. Atomos Cloud StudioとFrame.ioアカウントがペアリングしデバイスタブに戻ります。ペアリングしますと、接続デバイスのメディア配信先としてFrame.ioプロジェクトを選択できるようになります。パーソナルFrame.ioプロジェクトの招待されたすべてのプロジェクトが表示されます。メディアの配信先に設定するプロジェクトをクリックして選択し、『Done』をクリックしてください。

Frame.io アカウントとプロジェクトを選択する前にFrame.io の設定を行う必要があります。また、プロジェクトはC2C設定を有効にしておく必要があります。

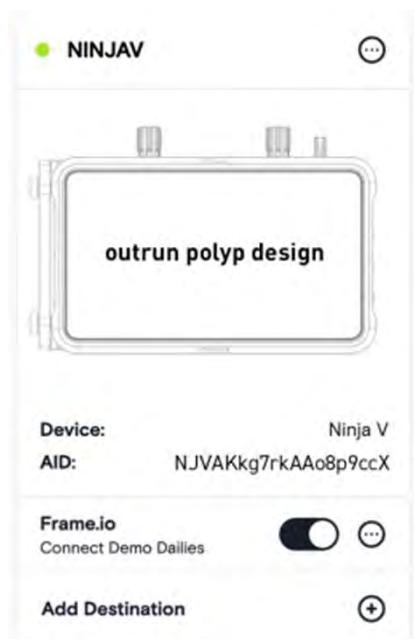
Frame.ioアカウントに関連するセキュリティ設定により選択可能なプロジェクトが決まります。



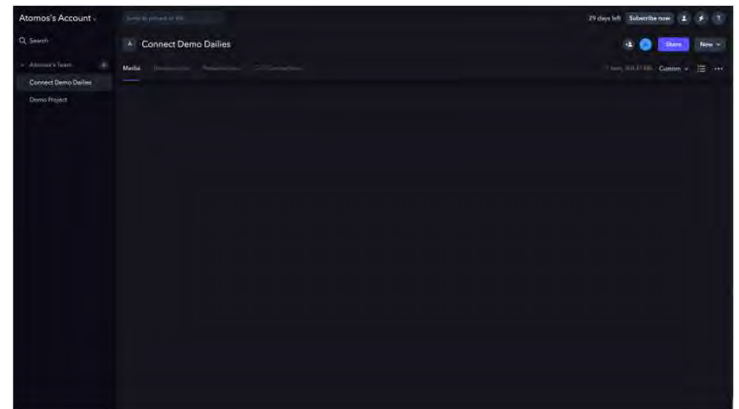
6. Frame.ioがデバイスボックスの下に表示され、機器の配信先をFrame.ioにするON/OFFスイッチが表示されます。クリックしてスイッチをONにしてください。

スイッチをONにしますと、適用されていた他の配信先が無効になります。

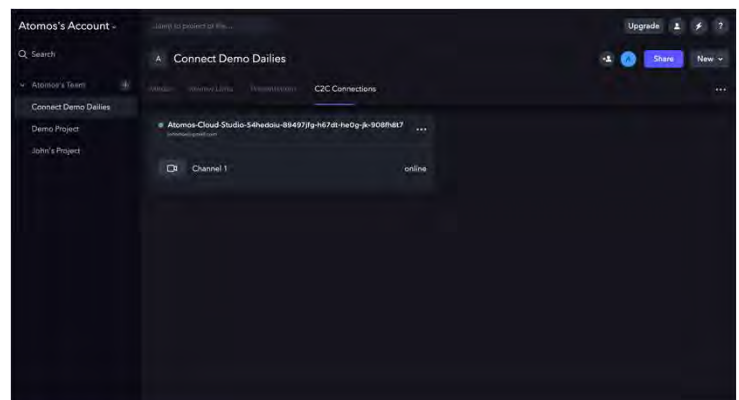
一度に選択できる配信先は1か所となります。



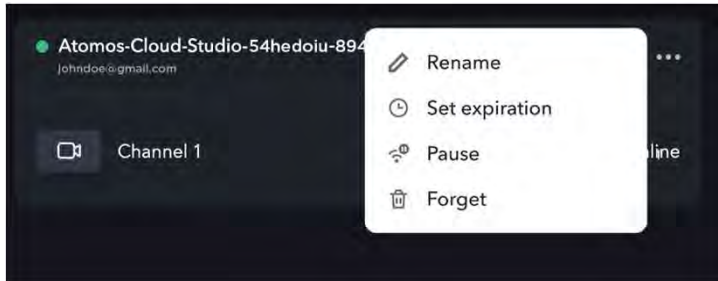
7. 新規のブラウザウィンドウでFrame.io アカウントにログインし、機器のメディア配信先に設定したFrame.ioプロジェクトを開きます。



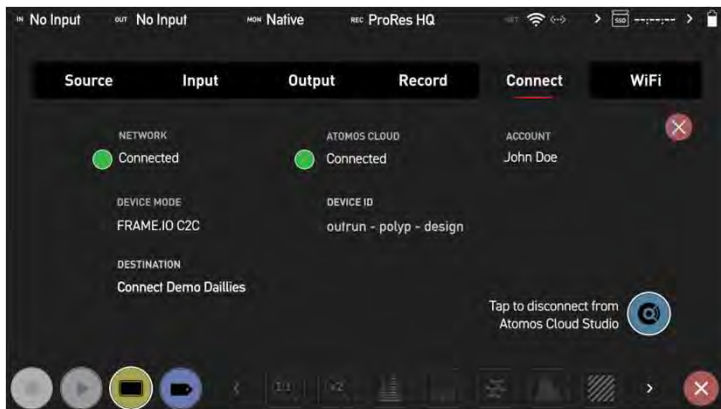
8. C2C接続タブをクリックして、Frame.io Camera to Cloud C2Cとの接続を表示します。こちらには、Frame.io C2Cエコシステムに直接接続されたハードウェアデバイスとアプリが表示されます。接続されたATOMOS機器が表示され、Frame.ioと接続されている機器には緑色の点がついています。



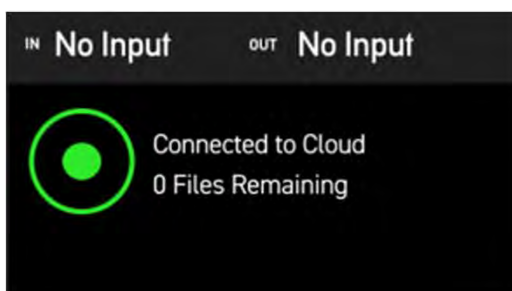
9. 初期設定では、デバイス名は『Atomos-Cloud』とアルファベットの数字列となります。  
接続ボックスの右側にある3つの点をクリックすると名称変更が行えるメニューが表示されます。  
Atomos Cloud Studioで設定した機器名と同じものをFrame.ioで設定したいときに変更が行えます。  
こちらでは、他に、有効期限の設定、接続の一時停止、設定削除を行うことができます。



10. NINJA V の Connectメニューページが更新されて DEVICE MODEに、Frame.io C2C が表示されます。  
また、選択したFrame.ioプロジェクトが DESTINATIONに表示されます。



11. NINJA Vの画面左上にも、機器が現在クラウドに接続されて待機状態であることを示す緑色の円のインジケータが表示されます。アイコンの隣りの文字では接続状況とこれからアップロードを行うファイル数を確認することができます。

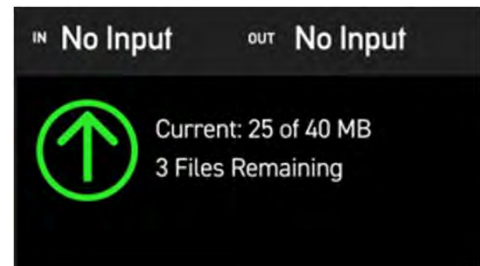


## FRAME.IOへのプロキシファイルアップロード

Frame.ioプロジェクトと接続されていますので、収録ボタンを押しますと、挿入したメディアに通常通りの映像ファイルと、メディア内のPROXYフォルダーに1080pのH.265 (HEVC) プロキシファイルが保存されます。こちらのプロキシファイルは、設定したFrame.io プロジェクトに自動的にアップロードされます。

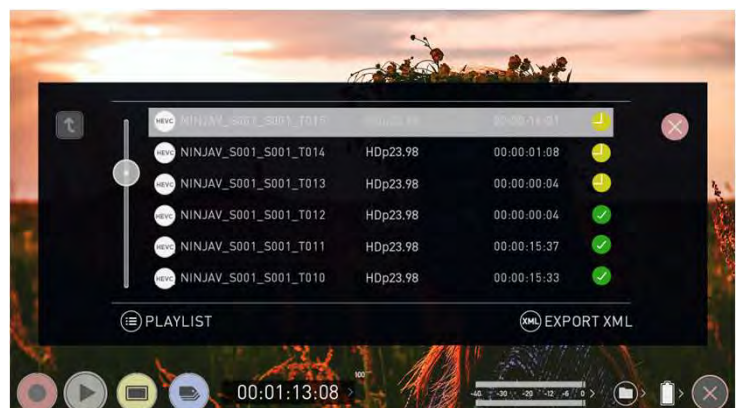
収録を停止しますと、NINJA Vの画面左上に、ファイルがFrame.ioにアップロードされていることを示す緑色の矢印が表示されます。アイコンの隣には、アップロードの進行状況と残りのファイル数に関する詳細情報が表示されています。

フル解像度の『hero』クリップ（最大4Kp30迄）は、Avid DNxHR/HDや Apple ProResで収録が行えますが、プロキシはH.265で、1080pの解像度で収録されます。



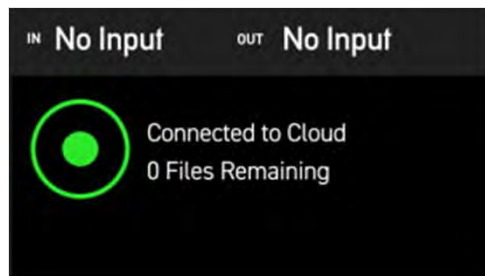
プロキシファイルのアップロードステータス一覧を表示したいときには、再生モードに切り替えて、フォルダーアイコンをタップして収録ファイルを参照します。  
次に、PROXYという名前のフォルダーアイコンをタップします。表示されている各プロキシファイルの右側には、アップロード状況を示すアイコンがついています。黄色の時計マークはアップロード待ちの状態、緑色の時計マークはファイルのアップロードが完了していることを示しています。

再生モード時はFrame.ioプロジェクトへのアップロードが継続されないことをご留意ください。



# CONNECT メニュー - ATOMOS CAPTURE TO CLOUD

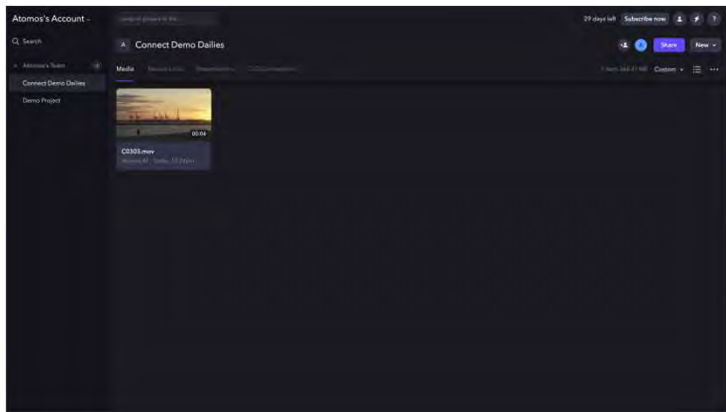
アップロードが完了しますと、NINJA Vの画面に再び緑色の円形アイコンが表示し、接続が待機中であることを示します。



## VIEWING UPLOADED CLIPS IN YOUR FRAME.IO PROJECT

アップロードしたクリップは、Frame.io プロジェクトのメディアタブに日付順で整理されフォルダー階層で表示されます。別の日に撮影したメディアはアップロード日ごとにフォルダーが分かれて表示されます。フォルダーの階層は次の通りです。

Cloud\_Devices > Date > Device Type > Device



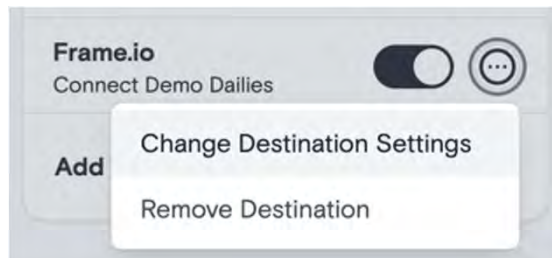
NINJA VからFrame.ioにファイルがアップデートされたあとは、Frame.io プロジェクト内の他のアセットと同様に、移動やコピー、共有することができます。

Frame.io Camera to Cloudの詳細については、<https://frame.io/c2c/>

もしくは、Frame.io トレーニングシリーズをご覧ください。  
<https://frame.io/c2c-training/>

## FRAME.IO の配信先設定調整方法

機器のFrame.io の外信先の隣りにあります3つの点のアイコンをクリックしますと、Frame.io の配信先の設定を変更したり、Frame.io の配信先を削除することができます。




## ATOMOS CLOUD STUDIO & FRAME.IO CAMERA TO CLOUD が対応している解像度とフレームレート


解像度	フレームレート	Ninja V	Ninja V +	Shogun Connect
4K DCI	23.98	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	24	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	25	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	29.97	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
4K UHD	30	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	23.98	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	24	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	25	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
2K DCI	29.97	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	30	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	50	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	59.94	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
1080p	60	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	23.98	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	24	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	25	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	29.97	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	30	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	50	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	59.94	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx
	60	ProRes, DNx	ProRes, DNx	ProRes, DNx





ATOMOS Streamは、YouTube Live、Facebook Live、Twitchなど人気のあるプラットフォームでライブストリーミングがおこなえるように設計されています。撮影に合わせて、上位機種のデジタルシネマカメラ、ミラーレスカメラ、DSLR、USBカメラ、さらにはiOS 機器を選択し、Atomos Cloud Studioアカウントを用いて、人気のオンラインプラットフォームでコンテンツをライブストリーミングすることができます。

Atomos Cloud Studioアカウントからこれらのプラットフォームのいずれかにコンテンツをストリーミングするためには、ストリームキーが必要です。ストリームキーとは、各プラットフォームごとに用意された固有の生成コードでビデオストリームの配信先情報を提供しています。ストリームキーの生成と各プラットフォームでのストリーミングの設定に関するガイドラインを以下に記します。

 Facebook Liveは現在、ストリーミング先としてご利用頂けません。今後のファームウェア更新で対応する予定です。

 収録コーデックがProRes RAWや H.265に設定されているときには、ライブストリーミングがご利用できません。

 ストリーミングは、ProResやDNxなどの標準の映像入力時のみご利用頂けます。

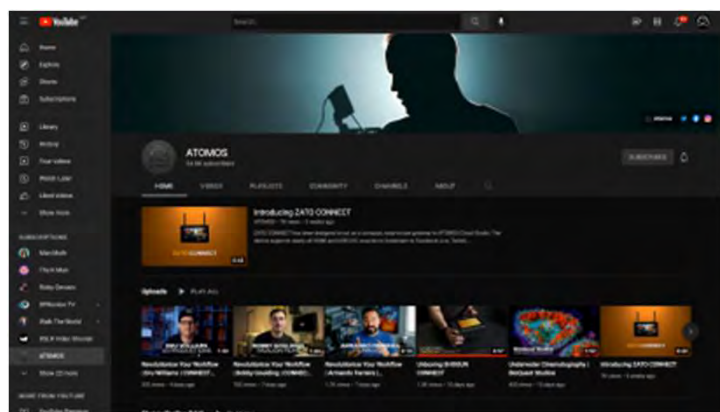
 ライブストリーミング適用時に解像度とフレームレートを変更しますと、ストリームが停止することがあります。収録モードと再生モードを切り替えますとストリームが再開されます。解像度やフレームレートの入力を変更する前にLIVE ボタンを押してストリームをとめてください。

## YOUTUBE LIVEへのストリーミング

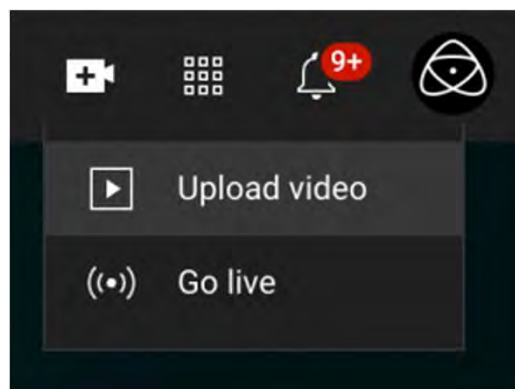
NINJA VとATOMOS CONNECTを使用し、YouTube Liveでストリーミングを行うとき、ATOMOS CONNECTはエンコーダーとみなされますので、YouTubeでもそのように設定する必要があります。

## ATOMOS CONNECTでのYOUTUBEライブストリームの作成方法


1. youtube.com にアクセスし、YouTube アカウントにサインインしてください。まだアカウントをお持ちでない場合には、アカウントを作成してください。



2. 右上隅にある『Create』アイコンをクリックし、『Go Live』を選択してください。YouTube Liveコントロールルームが開きます。

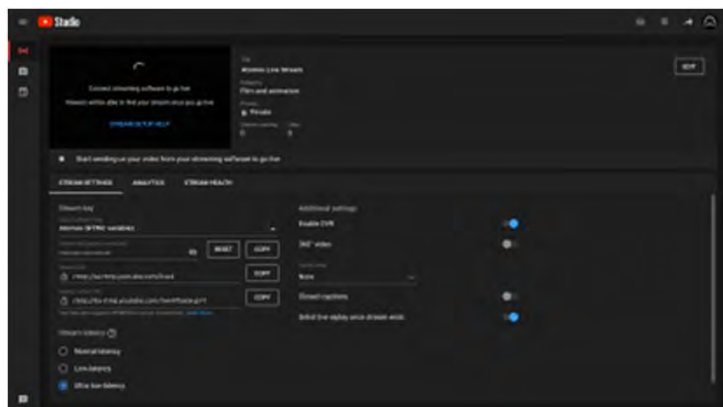


3. YouTubeチャンネルをまだ確認していない場合には、進行する前にチャンネルをご確認ください。

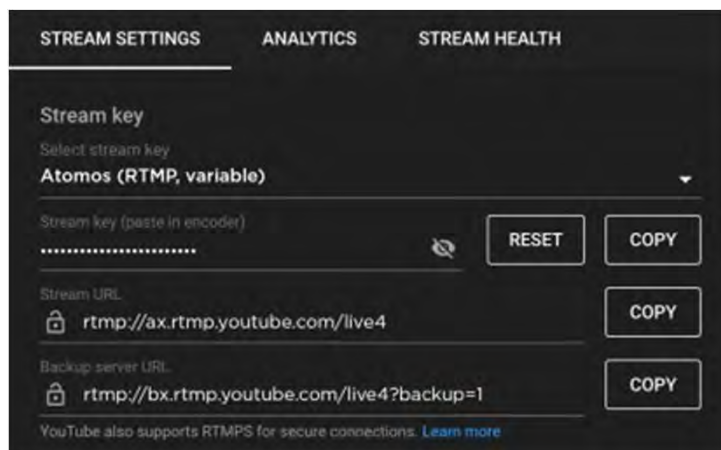
 **注意:** YouTubeでライブストリーミングを行う前に、ライブストリーミングを有効にする必要があります。YouTubeでは、過去90日間にライブストリーミングの制限を受けていないことを確認します。初めてライブストリーミングを適用するには最大で24時間かかる場合があります。



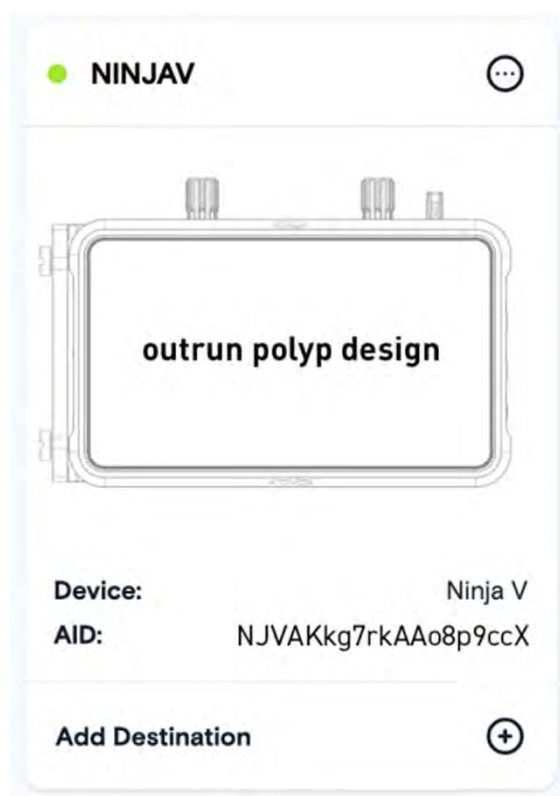
- ライブ配信の開始日を求めるポップアップが表示される場合があります。『Right Now』、『Later Date』から選べます。  
いずれかのボックスで『Start』アイコンをクリックします。『Right Now』を選択した場合は、次に現れるポップアップ画面でストリームの種類としてストリーミングソフトウェアを選択する必要があります。  
YouTube studioが開きます。



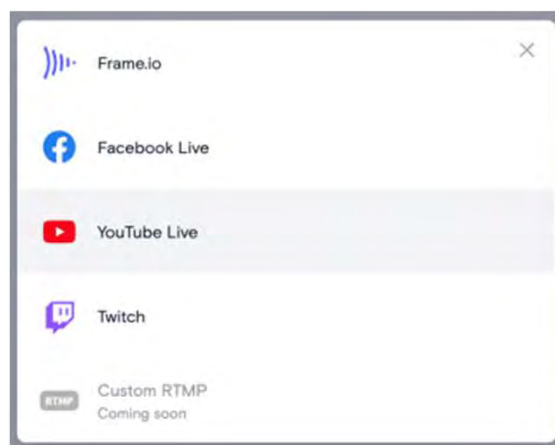
- ストリームキーの横にある『COPY』ボタンをクリックします。



- ブラウザで、atomos.cloudにログインし、ストリーミング元のNINJA V機器の『Add Destination』で『+』をクリックします。



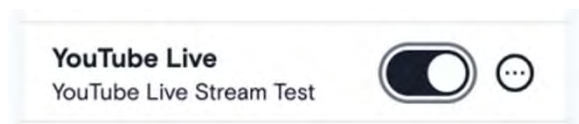
- YouTube Liveを選択します。



- 表示したポップアップボックスで、ストリームの説明を追加し、『Server』の下矢印をクリックしお使いになるサーバーを選択します。  
『Streaming Key』フィールドを右クリックし、『paste』を選択します。コピーしたYouTubeライブのストリームキーがペーストされます。  
『Done』をクリックして配信先の設定を保存します。



- Atomos Cloudのデバイスボックス下側に配信先としてYoutubeが表示されます。YouTube LiveスイッチをONに切り替えます。



- NINJA Vのモニター画面にあるLIVEアイコンをタップします。



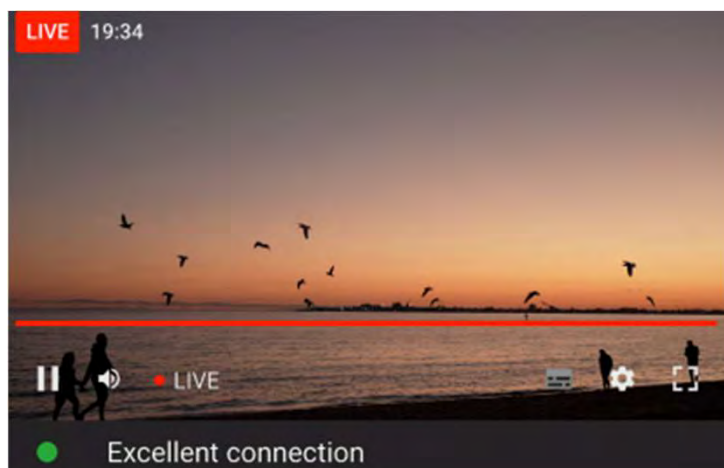
- LIVEアイコンの色が黄色に変わり、機器がストリーミング中であることを示します。



- ストリームがサーバーに承認されると、LIVEアイコンが赤くなります。この表示は現在ライブストリーミング中であることを示しています。



- YouTube Studio設定ページの上側にあるプレビュー画面にカメラからの映像が表示されます。YouTubeにライブストリーミングを行っている間、LIVEの文字と配信の経過時間が表示されます。



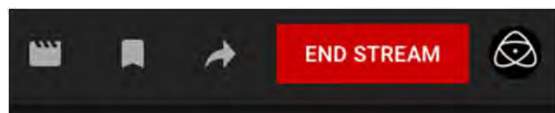
14. プレビュー画面の下にある、『Stream Settings』タブでは、ストリームの遅延やその他の設定を調整することができます。



15. ライブストリーミングを停止したいときには、NINJA V画面上のLIVEアイコンをタップしてください。ストリーミングが止まるとアイコンが白く変わります。



16. YouTubeの画面からライブストリーミングを終了したいときには、画面の右上隅にある、『End Stream』をクリックします。

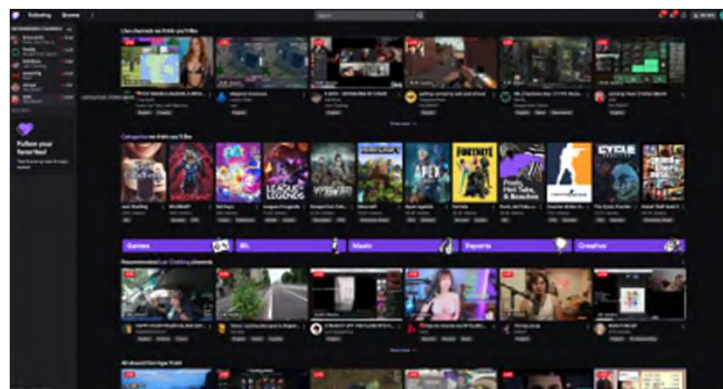


YouTubeライブストリームの作成方法の詳細についてはこちらをご覧ください。

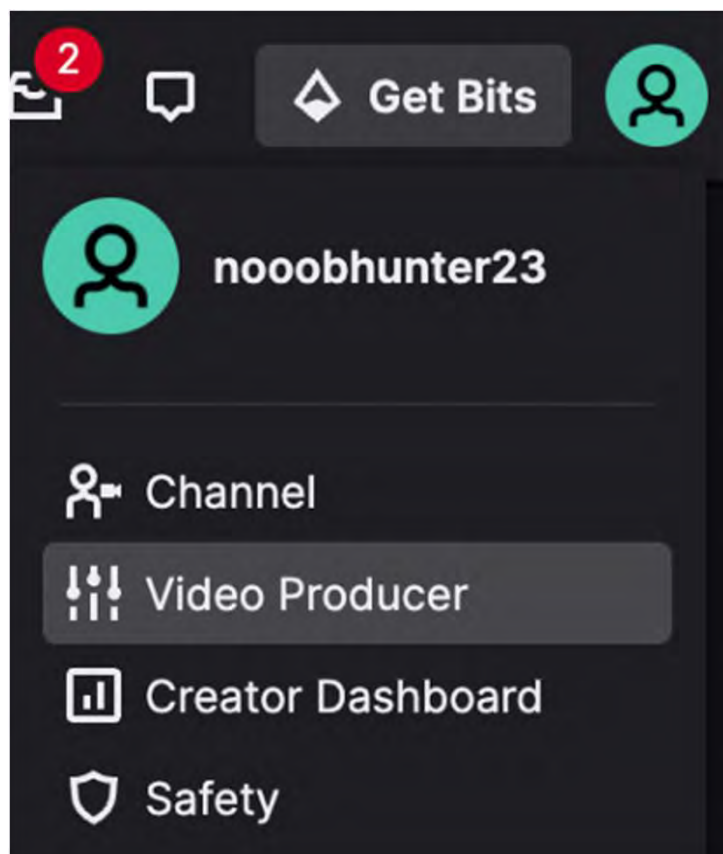
[support.google.com/youtube/answer/2907883?hl=en](https://support.google.com/youtube/answer/2907883?hl=en)

## TWITCHへのストリーミング

1. twitch.tvでTwitchアカウントを作成、もしくは既にお持ちのTwitchアカウントでログインします。



2. 画面の右上隅にある、プロフィール画像アイコンをクリックし、『Video Producer』を選択します。

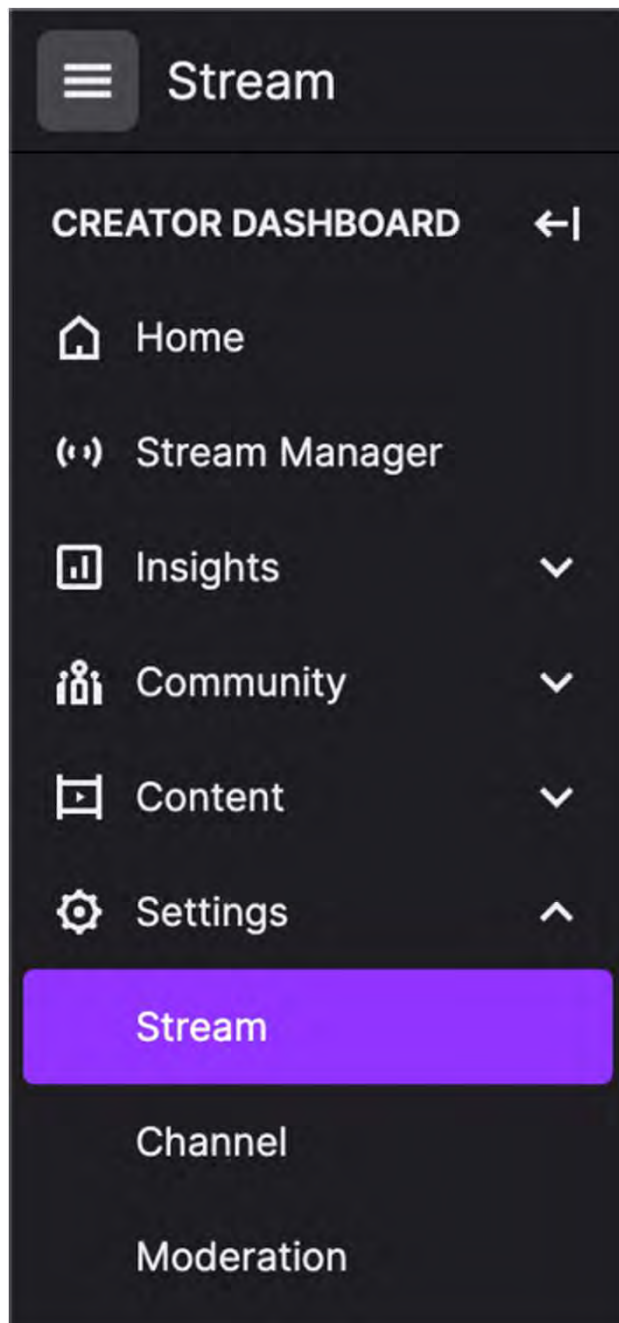




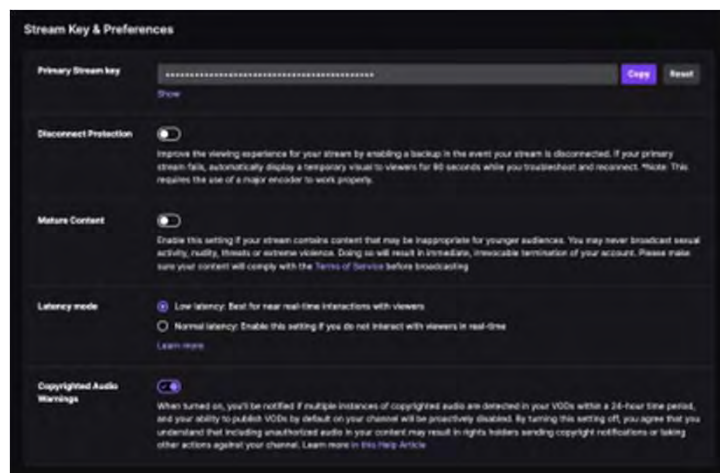
3. Video Producerのインターフェースが開きます。



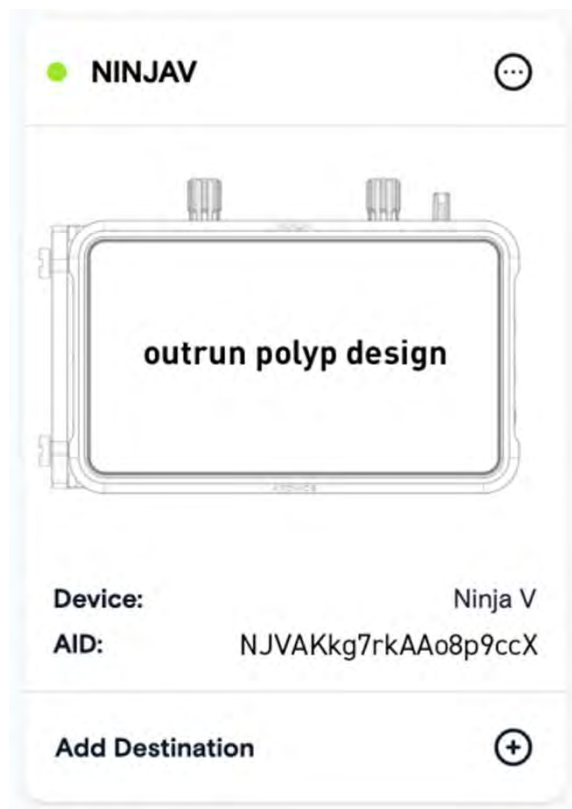
4. 画面左側の項目にある『Settings』をクリックし、ドロップダウンメニューから『stream』をクリックします。



5. 『Stream Key and Preferences (ストリームキーと設定)』ウィンドウが開きます。『copy』ボタンをクリックして、ストリームキーをコピーしてください。こちらのウィンドウで、レイテンシーやその他設定の調整を行うことができます。

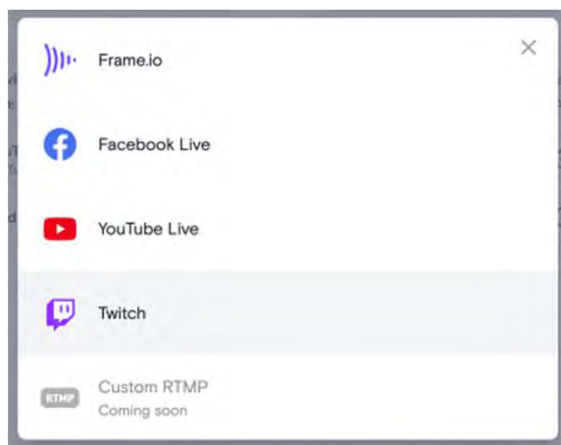


6. ウェブブラウザでatomos.cloud にログインし、ストリーミングで使用するNINJA Vの『Add Destination』で『+』マークをクリックします。

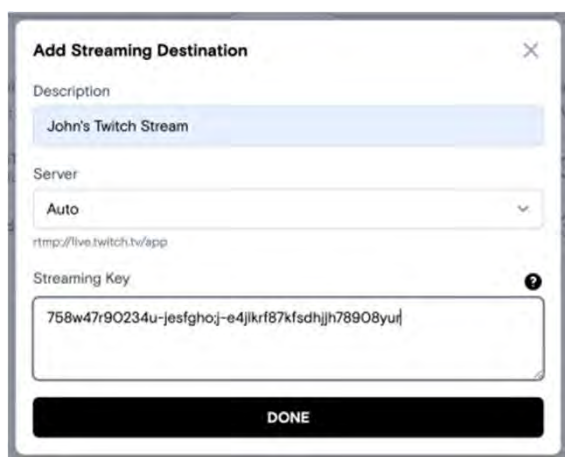




7. Twitchを選択します。



8. 表示されたポップアップボックスで、ストリームの説明を追記し、『Server』項目の下矢印をクリックして使用するサーバーを選択します。  
『Streaming Key』フィールドを右クリックし、Pasteを選択して、コピーしたTwitchストリーミングキーをペーストします。  
『Done』をクリックして設定を保存します。



9. Twitchは、Atomos Cloudのデバイスボックス下側に配信先として表示されます。  
TwitchのスイッチをクリックしてONに切り替えます。



10. NINJA Vの画面左上隅にあるLIVEアイコンをタップします。



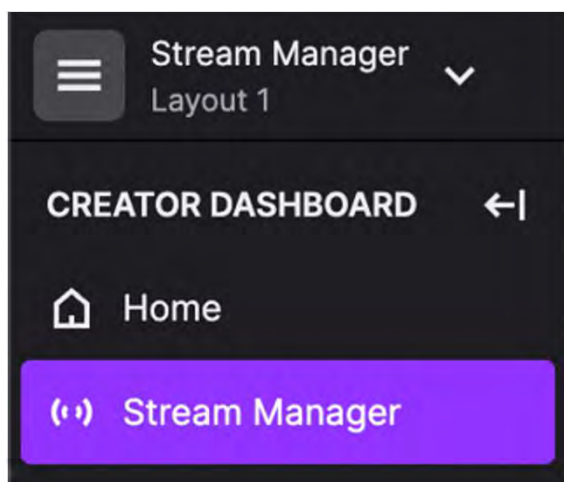
11. LIVEのアイコンが黄色になり、機器がストリーミング中であることを示します。



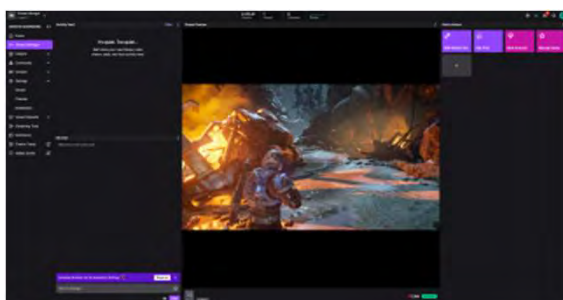
12. ストリームがサーバーに承認されると、LIVEのアイコンの色が赤くなります。  
こちらの表示は現在ライブストリーミング中であることを示しています。



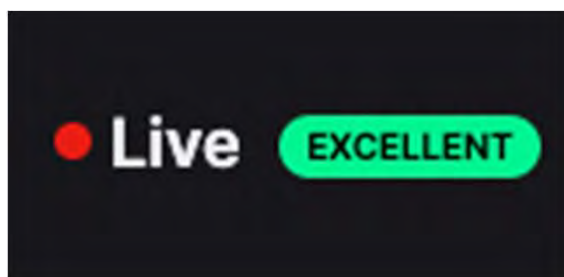
13. 横の項目から『Stream Manager』をクリックします。



14. Stream Managerのページが開き、機器からの映像が画面上に表示されます。



15. ライブ中は、映像の下に赤い点のついたLIVEの文字が表示されます。ストリームの『status/stability』の状況も色のついたアイコンで表示されます。緑のボックスに『Excellent』と表示されているのがその一例です。



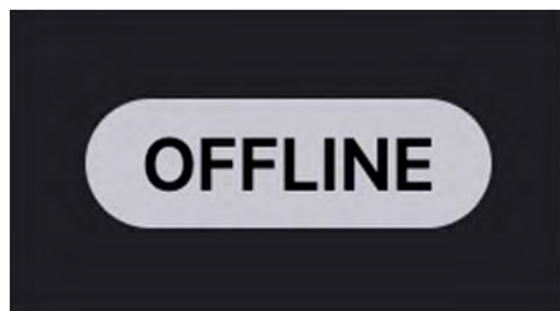
16. 映像にカーソルを合わせますと、いくつかの追加設定が表示され調整することができます。



17. ライブストリーミングを停止したい時には、NINJA Vの画面に表示されている『LIVE』アイコンをタップしてください。ライブストリーミングが終了し、アイコンが白く変わります。



18. ライブストリーミングを行っていない時には、ブラウザの映像の下に『OFFLINE』と表示されています。



Twitchへのストリーミングの詳細については、[help.twitch.tv/s/](https://help.twitch.tv/s/) をご覧ください。